

施策項目 15 食育の推進

[評価結果]

[担当課：健康・体育課(社会教育課)]



担当課HP

総合評価	進展あり
------	------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	0	1	1
	d評価となった指標	①			

定性評価 [施策]	進展あり
<p>望ましい食習慣の定着、安全・安心な学校給食の充実に向けて、保護者・地域住民の理解、学校における全教職員の理解が課題となっていることから各種普及啓発活動を実施したが、コロナ禍において、栄養教諭の食に関する指導や、調理実習など、児童生徒に直接指導する機会が減っていることや、PTAの研修会、給食の試食会など、保護者に対する普及啓発の機会が減っている。そのため、ICTを活用した保護者への普及啓発を推進しており、家庭における学校給食レシピの活用の広がりといった成果が見られるなど、一定の進展が認められる。</p>	

[施策の推進状況]

[P]・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 [D]・・・「Do 主な取組の状況」
 [C]・・・「Check 施策の課題」 [A]・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べている児童生徒の割合が目標値に未到達である状況 食育推進体制の研修会を開催しているものの、栄養教諭以外の出席が少ない状況 <p>(2) 安全・安心な学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産物は価格が高いことや量の確保が難しいなどの理由から使用割合が増加しない状況 学校給食衛生管理基準に基づく衛生管理や研修の実施等の対応を求めているが、異物混入等の発生が続いている状況
---------	---

(1) 学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進			
[P]	<p>① 家庭等と連携した望ましい生活習慣の改善に向けた取組の実施 ② 栄養教諭を中心とした食育推進体制の整備・充実に向けた指導助言及び研修の充実</p>	<p>① 「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間における周知（7～8月及び12月～1月、庁舎内放送）</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の定着や家庭教育の推進に関するパネル展を開催（7月12～13日、道庁1階、参加者数54名） 栄養教諭向け研修等を通じ、ICTを活用した保護者への普及啓発を推進（初任段階栄養教諭研修・5月～2月・38名）等 北海道学校給食研究大会（分科会「食育推進体制の在り方」）での事例発表・研究協議や保護者の参加を促進するため、PTA連合会、民間の保護者団体へ参加促進を依頼（8月・紋別市・参加者240名） 北海道学校給食研究大会（分科会「食育推進体制の在り方」）での事例発表・研究協議を実施 食育推進研究協議会の実施（10月・オンライン・参加者125名） 学校の管理職等を対象とした各種研修会、会議等における講 	[D]
[A]	<p>① 「早寝早起き朝ごはん」運動等の一層の強化に加えて、PTAや家庭教育サポート企業が集まる研修会での普及啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭向け研修等を通じ、ICTを活用した保護者への普及啓発を継続して推進 北海道学校給食研究大会での事例発表・研究協議、保護者の参加促進のためPTA連合会、民間の保護者団体への依頼を引き続き実施。 <p>② 栄養教諭を中心として全教職員で取り組む食育推進体制の確立を図るため、学校および調理場の管理職の理解促進や、栄養教諭の資質能力の向上を図る研修等を継続</p>	<p>① 食育も含めた望ましい生活習慣の定着に向けた取組を実施したものの、朝食の摂取状況には課題が見受けられることから、各家庭における実践に繋がる普及啓発の充実が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、保護者に対する普及啓発の機会が減っているため、ICTを活用した保護者への普及啓発を推進することが必要 北海道学校給食研究大会への保護者の参加を促進した結果、参加者が増加。（R2:2名→R4:6名(R3は全国大会)） <p>② 栄養教諭を中心として全教職員で取り組む食育推進体制の確立に課題が見受けられることから、学校および調理場の管理職の理解促進や、栄養教諭の資質能力の向上を図る研修等を継続し、リーダー育成システムを構築するための準備が必要</p>	[C]
(2) 安全・安心な学校給食の充実			
[P]	<p>① 地場産物を活用した特色ある献立の周知及び活用促進に取り組んでいる実践事例等の普及・啓発</p> <p>② 学校給食共同調理場の衛生管理の改善を図る取組の実施</p>	<p>① 北海道学校給食研究大会（分科会「地場産物を活用した献立の工夫と衛生管理」）での事例発表・研究協議を実施（8月・紋別市・参加者240名）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産物を活用した献立を募集し、北海道学校給食コンクールを開催（12月・オンライン・参加4チーム/視聴者28名） <p>② 北海道学校給食研究大会（分科会「地場産物を活用した献立の工夫と衛生管理」）での事例発表・研究協議を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理指導者の派遣による学校給食施設への指導（7月～11月、全道12施設） 学校給食衛生管理基準に基づく定期検査により課題のあった学校給食施設に対する保健所と連携した指導（6月～12月、全道3施設） 食物アレルギー対応についての講師派遣（オンデマンド動画の提供） 	[D]
[A]	<p>① 北海道学校給食研究大会における「地場産物を活用するための献立作成と調理技術向上の方策についての研究協議」を継続して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道学校給食コンクールを継続して開催 <p>② 衛生管理指導者派遣事業や保健所と連携した取組を継続</p> <p>北海道学校給食研究大会における「学校給食施設に応じた衛生的な調理作業の改善と工夫についての研究協議」を継続して実施</p>	<p>① 地場産物を活用した取組が不十分な学校が見受けられることから、地域と連携した地場産物を活用した取組を、幅広く全道に周知し、普及・啓発を図ることが必要</p> <p>② 定期点検において、評価が低い学校給食調理施設が見られることから、継続的に、国の事業を活用した衛生指導者の派遣による指導や、保健所と連携した指導が必要</p>	[C]